

## 現場の変化に感動！1,000本の丁張が消えた



### 手間が掛かる丁張設置 労力削減に期待

#### ■ ■ 現場詳細 ■ ■

東京都町田市

町田市にある公園の魅力を向上させるプロジェクトの一環で、公園の新しい玄関口、ウェルカムゲート設置のための整備工事。

【施工範囲】 20,000m<sup>2</sup>

【施工土量】 切盛土量10,000m<sup>3</sup>

【ソリューション】

スマートコンストラクションアプリ

#### ■ ■ 導入経緯 ■ ■

多摩住起建設(株) 社長 高橋勇三さん  
昨年、今回と同じような複雑な勾配や、曲線の多い現場を施工しました。変化が多い地形の現場だと施工の目印となる丁張を多く設置する必要があります。その現場では1,000本ちかくの丁張の設置が必要で、多くの労力と時間が掛かりました。今回の現場では、ICT建機を導入することで、その手間と労力を削減できればと考えました。



代表取締役 高橋勇三さん

### 東京都 多摩住起建設(株) 様

創立 昭和43年

東京都町田市を拠点に、  
建設・土木工事などの施工を行う。

人や環境に配慮し、  
地域の発展と健全な街づくりに  
貢献していきます。

掲載月:2019年8月

### ICT建機で品質及び 安全性向上

#### ■ ■ 導入効果 ■ ■

多摩住起建設(株) 社長 高橋勇三さん  
ICT建機を導入したことで、考えていた以上に容易に施工が出来ました。昨年に、1,000本ちかくの丁張を設置したことを思い返すとゾッとしました。

丁張が多く現場内にあると、せっかく設置した丁張を建設機械で壊してしまうこともあり、再度設置する作業が発生しましたが、今回の現場はそのような心配や丁張り間違いと言ったトラブルもありませんでした。精度については、施工後の出来形検査でズレが全くなく、検査員も感心していました。丁張レスでの施工になったことで、建設機械の近くで作業する作業員も必要なくなり、安全に作業が出来ました。ICT建機が浸透することで建設現場はもっと安全になっていきそうですね。土木業界のこれからが楽しみです。

